

## 【コラム】 聖隷浜松病院の取組み

当院は「地域がん診療連携拠点病院」「がんゲノム医療連携病院」「東海北陸ブロック地域小児がん連携病院」として、専門的ながん医療の実施や地域の医療機関ならび関係する施設と連携を図り、質の高いがん医療とサポート体制の提供を行っています。

院内でもそれぞれの専門性を活かした「多職種が連携したチーム医療」<sup>(※41)</sup>により、患者さんひとりひとりに最良のがん診療が提供できるよう、時には患者さんも含めて一緒にカンファレンス・話し合いを行い、治療及び生活面や心のケアにあたっています。

また当院では、がんと診断・治療する患者さんの数が浜松市内の病院で最も多く、他の医療機関からの紹介も幅広く対応しています。中でも若い世代のがん患者さんが多く（※AYA 世代：15歳～39歳）、世代特有の身体・心理社会的課題等を含め、AYAサポートチームを中心に、専門スタッフが連携しトータルサポートをしています。



### 【がん診療における特色】

- ◇がん生殖医療（妊よう性温存治療）：当院は県内唯一「卵巣組織凍結」が実施出来る施設です。卵子・胚（受精卵）凍結や精子凍結等も対応しています。
- ◇化学療法スキンケア外来（支持療法<sup>(※42)</sup>科）：がんの化学療法によるしびれ、発疹、爪の変化など皮膚への副作用に対して診療します。
- ◇リンパ浮腫<sup>(※43)</sup>外来（形成外科）：リンパ浮腫に対して、圧迫療法やマッサージ・運動療法を取り入れた複合的理学療法やマイクロサージャリー<sup>(※44)</sup>を用いた手術治療を行います。
- ◇臨床遺伝科・臨床遺伝センター：遺伝相談外来<sup>(※45)</sup>では、臨床遺伝専門医がカウンセリングを行い治療に繋がっています。
- ◇サイバーナイフ（放射線治療）：サイバーナイフはピンポイントの照射が得意で、からだへの負担が少ないです。治療時間が短く仕事を続けながらも受けることができます。
- ◇神経ブロック（緩和医療科）：鎮痛薬等で十分に緩和されない痛みに対して、神経根高周波熱凝固法や腹腔神経叢ブロック等の手技を用いて、痛みの緩和に努めています。
- ◇ロボット支援下手術：患者さんのからだにかかる負担を少なくした腹腔鏡手術とロボット支援下手術の精度をさらに上げ、より安全で正確な手術を行います。  
 （※対象術式：ロボット支援下前立腺全摘除術（前立腺がん）、ロボット支援下腎部分切除術（腎がん）、ロボット支援下腎尿管全摘除術（腎盂、尿管がん）、ロボット支援下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がん）、ロボット支援下直腸がん手術（直腸がん）、ロボット支援下結腸がん手術（結腸がん）、ロボット支援下幽門側胃切除術（胃がん）、ロボット支援下噴門側胃切除術（胃がん）、ロボット支援下胃全摘術（胃がん）、ロボット支援下肺切除術（肺がん）、ロボット支援下縦隔腫瘍切除術（縦隔腫瘍））